



**12月1日に
被爆二世プラスの会
会員の集いが**

師走の初日、被爆二世プラスの会会員のつどいが開催されました。高校生、大学生を含め約50名が参加。事務局からの活動報告の後、「被爆者協会解散後どういう活動をするべきか」と会長から提起がありました。

札幌南高(定)の生徒有志による感動的な朗読劇(「ヒロシマ」篇と「ナガサキ」篇)を観て、被爆者の体験と意思を受け止め、それぞれの形で発信していこうと話し合われました。

**12月3日には
「ヒロシマ・ナガサキ
の証言」を開催**

ノーベル平和賞の受賞をうけて、協会と二世プラスの会は、12月3日と4日、道庁1Fロビーの交流広場で「ヒロシマ・ナガサキの証言」を開催しました。正面には、「おめでとう、ノーベル平和賞」と書かれた札幌南高(定)の生徒が制作したモザイク画が掲げられました。

その前で、初日は会長の廣田さんが挨拶、被爆者大村さん、二世川去さんがひとときわ力のこもったお話をしました。

2日目は金子さん、宮本さん・松本さんが証言。幼い頃の懐かしい生活が一変し、地獄のような街の様子と家族の死、生活の苦勞、自身と家族の病氣など、再び被爆者をつくってはならないと訴えました。

圧巻は南高(定)生徒の朗読劇、最後は「私たちが語り継ぎます」という言葉で終わりました。大きな拍手が送られました。協会は解散しても被爆者の訴えは続きます。



**150万円募金に
ぜひご協力下さい!**

『被爆者の証言第5集』の発刊・看板設置など、被爆者協会最後の事業をやり切るために、150万円募金にぜひご協力!

詳しくは被爆者協会事務局へ。

**『被爆者の証言
第5集』只今編集中!**

いまこそ語り継ぎたい、再び被爆者をつくらないために。まだ原稿間に合います! 会員外の方も大歓迎です!

詳しくは被爆者協会事務局へ。

核兵器廃絶へ決意こめて

新婦人と原水協が主催する今年初めての6・9行動が6日、札幌駅南口広場で行われ、諸団体の代表者がリレートークを行いました。

長崎で被爆した宮本須美子さんが「人類生存と地球の未来には核廃絶しかない」と力強く訴えました。